

性的少数者に理解を

岡山で
公開講座 多様性認め合い訴え

性的少数者（LGBT）に対する理解を深める公開講座が3日、岡山市北区南方、きらめきプラザで開かれ、岡山大ジェンダークリニック医師の中塚幹也教授が、性同一性障害などの悩みを抱え込まず、専門医療機関に早期に相談する大切さを訴えた。

「知っておきたいセクシャル・マイノリティ（LGBT）の基礎知識」と題して講演した中塚教授は「性同一性障害の子どもたちは

性別に対する違和感から、うつ病などに陥りやすい」と説明。「性の悩みは打ち明けづらく、独りで悩みがち。

性別に違和感などを覚える場合などは、すぐにジェンダークリニックを受診してほしい」と呼び掛けた。

性別に関係なく、誰もが多様性を認め合える社会の実現へ向けて、県男女共同参



性的少数者について講演する中塚教授

画推進センター（岡山市）が企画。「現代の女性活躍事情」国際的な視点から「」をテーマとする講演もあった。

（山本未来 王）